

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①事業所、関係機関と連携して総合的な就労支援施策を推進	◇就労支援連絡会・日中活動系連絡会合同連絡会	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	第1回 6月5日開催 【参加者23名】 近状報告・情報共有 第2回 10月2日開催 【参加者19名】 事業進捗報告 第3回 令和6年2月2日開催 【参加者 26名】 ・オアシス小牧進捗状況 ・保護者向け事業所紹介、事例検討会、にじカフェ・にじいろマルシェ、日中活動系事業所見学会、こまき福祉のおしごとフェアの事業報告・意見交換会	第1回：各事業所の取り組みを知ることができた。 第2回：今年度の取り組みに向けての意見交換や、役割分担を行うことができた。 第3回：保護者向け事業所紹介、事例検討会、にじカフェ・にじいろマルシェ、日中活動系事業所見学会、こまき福祉のおしごとフェアなどの各事業の取り組みや課題を知り、令和6年度に向けて、サービス内容を充実させるため、どのようなことに取り組んでいくと良いかを話し合うことができた。	終了・継続・変更 (※)	就労支援連絡会・日中活動系連絡会合同連絡会を行い、事業所同士の連携ができ、就労支援施策につなげていく。 令和6年度も、各担当部会に分かれて、イベントや作品展示の場等に参加できるよう進めていく。 仕事だけでなく、余暇活動に目を向けることで、利用者の生活の質を上げる取り組みにつなげていく。 また、令和6年度は保護者及び教員向け進路説明会を相談支援事業所連絡会より引き継ぐ。理由は、特別支援学校生徒の進路先が生活介護や就労継続支援A型・B型等日中活動系や就労事業所の選択肢もある為、保護者や教員とつながりを作っていく。



目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇にじカフェ・にじいろマルシェ開催		<p>にじカフェ・にじいろマルシェ開催に向けての打ち合わせを毎月開催【担当者7名】</p> <p>11月25日(土) 10:00～15:00開催 場所：小牧市にぎわい広場西エリア</p> <p>【5事業所参加】 来場者：延べ188名 クイズラリー参加者96名 アンケート記入者43名</p>	<p>地域の皆様に、福祉サービス事業所を知って頂く機会となり、事業所で取り扱う商品を販売することができた。</p> <p>障がいがある人、家族、支援者、関係者の方々が交流する場所となった。</p> <p>スタッフのみで運営ができた為、ボランティアに参加協力の依頼はしなかった。</p>	<p>終了・継続・変更 (※)</p> <p>終了 → 継続 → 同じ → 変更</p>	<p>マルシェの開催により、障がい者施設による物販の機会の充実を図る。マルシェを行う会場やにじカフェと一緒に進むか検討していく。</p>

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き		P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	③とよめサロン利用 活性化プロジェクト への協力(会場は2 回共とよめサロン) ・物販 ・地域の保健相談 第1回 9月27日 【8事業所参加】 【マルシェ来場者 78名】 第2回 令和6年1月30日 【8事業所参加】 【マルシェ来場者 47名】	地域の方々に、福祉 サービス事業所を知っ て頂く機会となり、事業 所で取り扱う商品を販 売することができた。 平日にどこにも通って いない利用者に案内し たことで来場され、余 暇の時間を過ごすこと ができた。	終了・継続 → 同じ 変更	マルシェを開催することで、 地域の方々に、福祉サービス 事業所のPR、物販の促進に 繋がる。また、利用者に案内 することで、余暇の時間を提 供することができる。 今後も、とよめサロン活性化 プロジェクトへ協力していく。
	◇にじいろマル シェ こまき社協だより (12月号掲載) ◇小牧市内で行う マルシェの情報共 有、参加		10月号のこまき社 協だよりにて、に じいろマルシェを 11月25日に開催す ることを掲載 チラシ・ポスター で周知する。 11月こまき広報で にじいろマルシェ 開催を掲載	社協だよりや広報こ まきを見て来場して くれる方がいた。	終了・継続 → 同じ 変更	マルシェの広報により、障 がい者理解を進めていく。 また、障がい就労施設によ る物販の機会の情報提供を する。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇小牧市内のスポーツ大会や、文化芸術活動の情報共有、参加	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	①サンデーボランティア主催 身体障害者福祉協会協力 「ボッチャ教室」 7月よりふれあい総合相談支援センターの相談支援専門員が利用者へ試験的に参加を呼びかけた。 参加者 7月:17名 8月:15名 9月:16名 10月:18名 11月:18名 12月:18名 1月:27名 2月:28名 3月:28名	ボッチャ教室 ・呼びかけた利用者の中では、「楽しかった」と、継続して参加されている。 ・日中活動系・就労支援・こども・相談支援事業所連絡会に定期的にメールやチラシを配り、徐々に周知ができてきた。 ・余暇活動の場のひとつとなってきた。 ・令和6年1月より個人ボランティアが参加し、審判の協力を得ている。	終了・継続・変更 (※) 終了・継続 → 同じ・変更	余暇の活動として、各事業所や、相談支援専門員が呼びかけたことにより、参加利用者が、さらに家族やお友達にも声をかけ、参加者が増えてきている。今後も、余暇の活動の一つとして継続して呼びかけていく。
		P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	②10月より、とよめサロンにて福祉サービス事業所の作品展示。	②とよめサロンの作品展示スペースの環境を整えた。今後事業所への呼びかけを行っていく。	終了・継続・変更 (※) 終了・継続 → 同じ・変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇障がい者が働く事業所ガイドブックの更新		各事業所の内容の見直しと、新規事業所の掲載データを作成し、2月末に完成。 各サービス事業所、相談支援専門員に配布した。	掲載内容を見直し、新規事業所についても掲載したことで、最新の情報を提供することができた。	終了・継続 → 同じ・変更	令和6年度も、新規事業所を含めて、継続して冊子を作成し、障がいに関する理解の促進、事業所の周知に繋げていく。 なお、次年度に向けて、冊子をデータ化していくのか、このまま継続して冊子にしておくのかを検討する。
	◇市の調達方針に沿って優先的に発注を行い、施設などの仕事を確保		障がい福祉サービス事業所一覧や各日中・就労・こども連絡会、はじめのいっぽなどの冊子印刷や、会議の議事録作成、こまき福祉のおしごとフェアのポスターや、チラシ、クリアフォルダ作成を依頼した。	優先的に福祉サービス事業所に発注をすることができた。	終了・継続 → 同じ・変更	障がい者就労施設等からの物品の調達や役務の提供により、障がいのある人の就労を支援する。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
<p>①障がいのある人の雇用促進に関する広報・啓発活動の取り組み、企業などの理解・協力を推進</p>	<p>①障害者雇用支援月間にポスター配布・掲示依頼を行った</p> <p>②小牧市障害者雇用促進奨励金を支給</p>	<p>P38</p>	<p>①9月ポスター掲示・就労継続支援事業所 21事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託相談支援事業所 6事業所 ・春日井公共職業安定所 ・尾張北部障がい者就業・生活支援センター ・小牧市役所 ・小牧市社会福祉協議会 <p>②32事業者に対して、奨励金を支給 【雇用者62名】</p>	<p>①ポスター配布・掲載により、雇用促進に関して、企業への理解に繋がっていきけるように働きかけができた。</p> <p>②障害者雇用促進に一定の効果があった。</p>	<p>終了・継続 → 同じ・変更</p>	<p>①来年度も継続して、障害者雇用支援月間にポスター掲示依頼を行い、理解推進に繋がっていく。</p> <p>②直接的な補助金があることで、企業としては人件費を抑制することができる。</p>

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更